

毎年7月第1土曜日は 国際協同組合デー

生協は、「農協」「漁協」「森林組合」と同じ「協同組合」の一つ。世界にも「生協」はあり、「生協」を含む「協同組合」は世界で最大規模のNGO（非政府組織）であり、NPO（非営利組織）です。

生協の発祥の地はイギリスのロッチデール

協同組合の歴史は18世紀のイギリスにさかのぼります。世界に先駆けて産業革命が起こり、生産能力が飛躍的に増大しましたが、工場で働く人々は低い賃金と長時間労働を強いられ、失業の不安にさらされていました。これらを救う方法として「協同の理念」が提唱され、1844年イギリスの工業都市ロッチデールの労働者28人が出資金を出し合い「ロッチデール公正開拓者組合」が設立されました。最初は小麦・バターなどわずか4品目でしたが、「ロッチデール原則」（現金主義・純正な食品・正しい量・適正な価格・剰余金の分配・教育の重視・宗教的政治的自由）が後の協同組合原則となりました。



ロッチデール組合の最初の店舗・事務所
(現在は記念館)

日本の生協の父 賀川豊彦（1888年～1960年）



兵庫県神戸市に生まれた賀川豊彦は、社会運動家であり、小説家、キリスト教の伝道者でもありました。貧しい人々や労働者が生活者として幸せに生きられるよう相互扶助を目指し、伝道活動、労働組合運動、農民運動の活動に努めました。後に「イギリスの生協に学び、日本にも生協を」と、『神戸消費組合』（現在のコープこうべ）を設立し、戦後日本生協連の初代会長にも就任しました。また、作家として2度のノーベル文学賞の候補に、社会活動家としての功績から3度ノーベル平和賞の候補に選ばれています。

（参考文献：学研まんがでよくわかるシリーズ たすけあいのひみつ 他）

日本協同組合連携機構(JCA)2018年4月設立

JA・生協・漁協・森林組合・全労済・労金など日本の協同組合はこれまでも連携・協力活動を行ってききましたが、連携を更に促進するために2018年4月1日、新たな連携組織JCAを設立しました。協同組合員間連携の推進・支援・広報、持続可能な地域のより良い暮らし・仕事づくりに向けた教育・調査・研究などに取り組んでいます。

今年の国際協同組合デーのテーマは
協同組合の力で気候変動に立ち向かおう
～アイデンティティとSDGsへの貢献～

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2020年6月4日 No.127

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

参加者募集 第24回 海岸クリーンアップ

Let's clean the coast!

1997年の「ナホトラ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施し、今年で24回目になります。

1 9月5日(土) 9:00～10:00
鷹巣海水浴場

2 9月12日(土) 9:00～10:00
三国サンセットビーチ

持ち物

ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先（電話番号）をお知らせください。

※行事保険に（事務局負担で）加入します。

申し込み・お問い合わせは 福井県生協連合会まで

協賛：福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会

会員生協ボランティア活動 支援助成のご案内

福井県生協連合会加盟生協の
ボランティア活動を支援します。

対象期間 2020年4月1日より2021年3月31日
までの期間の活動を対象とします。

〈申請締め切り〉第一次申請………2020年6月30日

第一次申請以降…予算額（総額60万円）に達するまで

① 一般ボランティア活動部門

〈助成金額〉 1生協5万円を上限とします。

〈申請対象となる活動分野〉

福祉…身体障害・知的障害・精神障害者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動

環境…自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動

教育…子どもの健全育成、子育て支援などの活動

国際協力…留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動

その他…県連理事会で承認されたボランティア活動

② 東日本大震災復興支援活動 (交流活動含む) 部門

〈助成金額〉 1生協10万円を上限とします。

〈申請対象となる活動分野〉

東日本大震災復興支援活動（地元避難者支援、現地復興支援、復興支援交流活動など）を支援します。

問い合わせ先

それぞれの会員生協窓口、
または
福井県生協連合会窓口まで。



KC's NEWSより活動紹介

適格消費者団体 特定非営利活動法人 消費者支援機構関西（略称KC's:ケーシーズ）は、消費者が安心して生活できる社会を実現するため、不当な勧誘行為や不当条項の契約書など事業者の不当な行為に対して中止を申し入れたり、差し止め請求権を行使（裁判をおこす）できる組織です。福井県生協連はKC'sの団体正会員としてKC'sの活動を支援しています。



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) に対して、差止請求訴訟を提起しました。

USJ のチケット利用規約のキャンセル・転売条項の差し止めを求めた第2回裁判が行われました。

同社の運営するユニバーサル・スタジオ・ジャパンの「WEBチケットストア利用規約」の契約条項には、消費者契約法に反し不当と思われる点があり（→USJのWEBチケットストア利用規約では、チケット購入後のキャンセルや転売が認められていないことから、消費者がUSJのチケットを誤って購入してしまった場合（誤購入の場合）や、病気・怪我・

やむを得ないスケジュールの変更など、チケット購入後に生じた事情変更によって当日の利用ができなくなった場合には、チケットを購入した消費者は不要になったチケットの購入代金を取り戻すことができない）、当該条項の修正・削除などを求めた差止請求訴訟を大阪地方裁判所に提起していましたが、第2回期日（裁判）が3月6日（金）に行われました。次回期日はコロナウィルス感染拡大の影響で延期となり、現在未定です。



3.11 を忘れない

みやぎ生協から被災地のいまをお伝えします

戻ってきた人たちが笑顔になれるスポーツの町づくり 福島県楡葉町

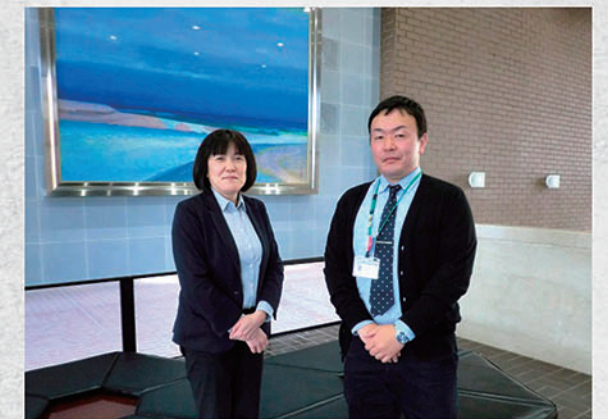
楡葉町は、サッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」で有名な町です。

「多数の天然芝のサッカーコート有する日本最大規模の施設があることが町民の自慢の一つだった」と楡葉町教育委員会の手島健祐さんは言います。町はスポーツ振興に取り組み、地区対抗などのスポーツ大会も活発に行われていました。しかし東日本大震災に伴う原発事故で町の大半が警戒区域に指定され、町民も避難を余儀なくされました。またJヴィレッジも事故収束のための前線基地となり、スポーツ施設としては使えなくなりました。

避難指示が解除され、町に住民が戻り始めたのは2015年9月です。町では道路や建物などの復興を急ピッチで行なった後、農業や教育などの重要施策に本格的に着手しました。重点施策の柱の一つが「健康増進とスポーツ振興」です。町ではそれを「楡葉町スポーツ推進基本計画」（以下、基本計画）としてまとめました。

2018年7月に再開したJヴィレッジ、2019年4月にオープンした屋内体育施設「ならはスカイアリーナ」が、基本計画の策定を後押ししました。「スポーツを通じて町を盛り上げていこうという機運が生まれたのは、この2つの施設があったから」と手島さん。2つの施設は同時に復興のシンボルでもありました。

～地域とスポーツ～



▲楡葉町教育委員会総務課課長の高木さつきさん（左）と同主査の手島健祐さん。「計画の中には実際始まっている事業が幾つかあります。状況を見ながらトライアル、本格実施へと進めていきます」。

基本計画のテーマは「スポーツを通じて楡葉町の住民が誇りを持って暮らせる町づくり」です。

楡葉町教育委員会の高木さつきさんは「楡葉に戻ってきた人たちが、スポーツを“する”だけでなく“見る、支える、楽しむ”と様々な形でスポーツに関わる町、スポーツを通じて笑顔が生まれる町になってほしい」と話します。例えば“する”では、幼児や高齢者でもできるウォーキングサッカーなど広義のサッカーの取り組み、“支える”ではスポーツボランティア登録制度の導入など、誰もがスポーツに携われるような環境づくりを進めます。

さらに基本計画では、町外へのアプローチとしてスポーツ合宿の誘致や宿泊型の保健指導などスポーツツーリズムの推進を上げています。

楡葉にはJヴィレッジやならはスカイアリーナなど、観光しながらスポーツをし、健康増進を図ることのできる施設が整っています。「楡葉に来ていただいて楡葉の良さを分かっていたく。そうした取り組みが交流人口につながることも期待したい」と高木さん。

帰還した町の人々が誇りを持って暮らせるよう、きめ細かな施策でスポーツのまち楡葉の再生と復興は進められています。



▲プールやフィットネスルームを備えた屋内体育施設ならはスカイアリーナ。学校との連携で子どもたちの水泳の授業や部活動に利用されることもあります。

2020年度 第1回 フードドライブ 実施のご案内

福井県民生協では、2019年度10月・3月ハーツ全店、大野・勝山きらめき（介護事業所）で、初めてフードドライブに取り組み、食品4,210点、お米1,434キロ寄付いただき、地域の社会福祉協議会、自立支援センター、子ども食堂等に提供しました。

今年も食品廃棄ロスの削減と生活困窮者支援を目指して第1回の取り組みを、7月17日（金）～19日（日）ハーツ10店舗と大野きらめき・勝山きらめきにおいて実施します。ぜひご協力ください。



（昨年10月ハーツ学園にて）

フードドライブに 協力ください！

“もったいない”を“ありがとう”に 1人でもできる社会貢献

ご家庭に眠っている 余剰食品があれば ぜひお持ちください

“フードドライブ”とは？

家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、それを必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

- 家庭
- フードドライブ
- 福井県民生協で回収（ハーツやきらめきなど）
- 社会福祉協議会・自立支援センター 児童養護施設など
- 生活困窮者や 児童養護施設の子どもたちに



寄付いただきたい食品

- お米（白米・玄米・アルファ米）
- パスタ・煮干などの乾麺
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ
- 粉ミルク・離乳食・お菓子
- 調味料（醤油、食用油など）など

1ヵ月以上賞味期限が残っている 常温保存可能なもの

少量でも、 コープ商品以外でも 受付できます！

受付できない食品

- 賞味期限が1ヵ月を切っているもの
- 開封されているもの
- 生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）
- アルコール（みりん、料理酒除く）

ごめんなさい…

上記食品は、お持ちいただいても 受取できません。 ご理解・ご協力をお願いいたします。